

お知らせ

令和元年8月20日雷雨に伴う降雨の出水で
やぎさわ ぼうさいそうさ
矢木沢ダムは、防災操作（洪水調節）を行いました。

防災操作により矢木沢ダムに全量を貯留（約158万 m^3 ）

矢木沢ダム流域では、8月19日18時から20日19時までの累計で、113.9mmの降雨量を観測しました。

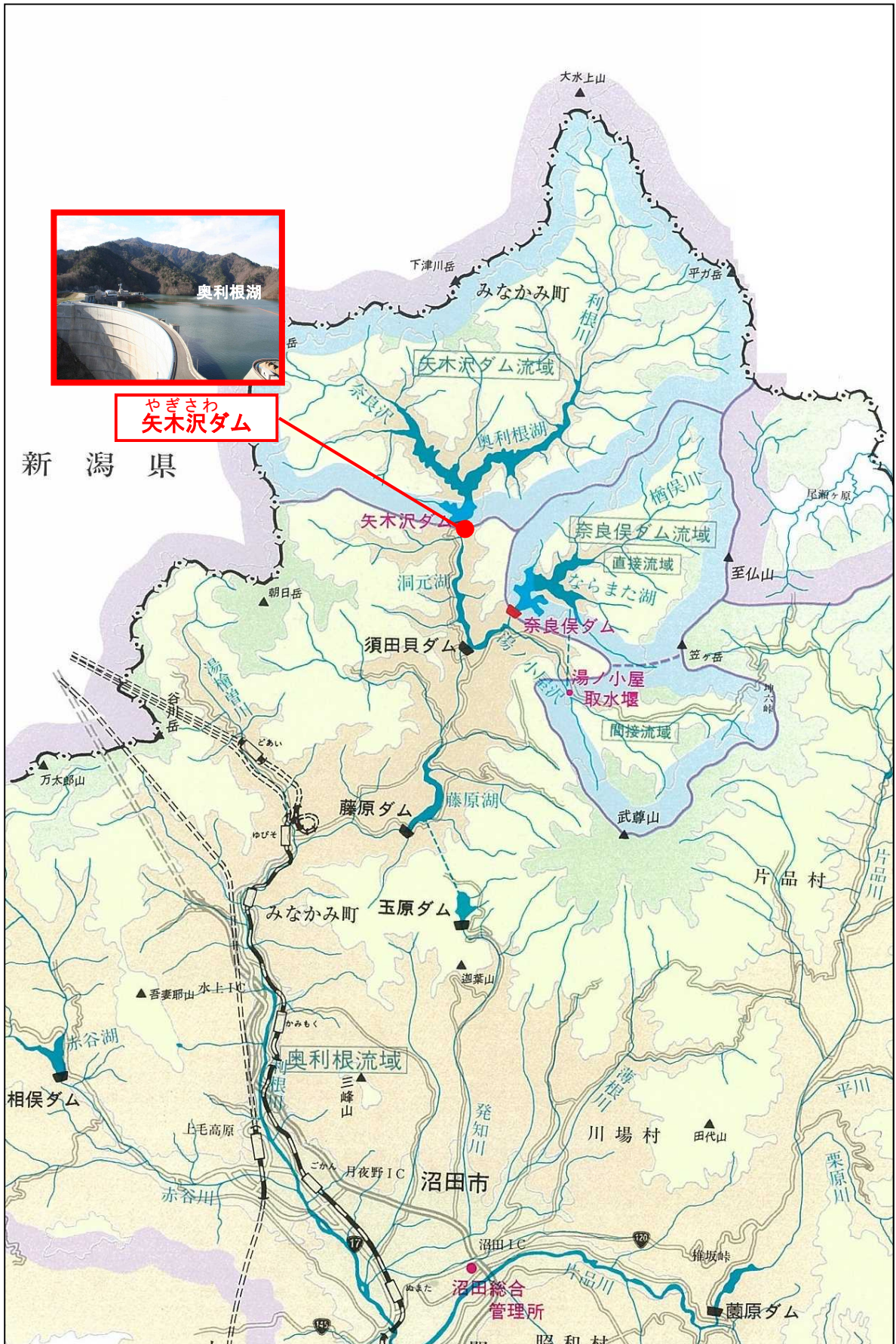
この降雨によって、矢木沢ダムへの流入量が増えたことにより、20日13時40分に流入量が洪水量（毎秒100立方メートル）に達したため、防災操作（洪水調節）を実施し、ダムに約158万立方メートルを貯留しました。

今後も、矢木沢ダムでは適切に防災操作（洪水調節）を実施し、下流地域の洪水被害の防止・軽減に努めてまいります。

※防災操作（洪水調節）とは、降雨等によりダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込んで、ダムから下流に流れ出す量を減らし、下流の川の水位を低減させることです。

注）数値は速報値です。

■位置図



■ 矢木沢ダムの防災操作の状況図

